

保護者の方へ



子どもたちの学力の向上を図ることは、学校の重要な役割の一つですが、子どもの「自ら学ぶ姿勢」を育てるためには、家庭のかかわりがとても大切です。学校(教師)と家庭(保護者)が連携して、子どもの学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を図りましょう。

家庭学習のねらいは、『基礎学力の定着』と『自ら学ぶ習慣づくり』にあります。

『基礎学力の定着』は、主に音読、漢字、計算といった宿題などを通して図ります。

『自ら学ぶ習慣づくり』は、家庭学習の時間の中に自学自習する時間を設け、自分で課題やめあてをもって学習することで身に付けるようにします。

しかし、低・中・高学年で学習の特徴が違いますから、それぞれの発達段階にあった学習の仕方を身に付けながら、定着をめざすことが大切です。低・中・高学年に分けて学習の特徴やご家庭での援助等の例をお示ししますので、家庭の実状にあわせて、参考にさせていただきます。

低学年 (1・2年生)

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」などの基本的な生活習慣を身に付けることが学習習慣の定着に欠かすことができません。保護者の皆様の支えや賞賛によって、子どもの興味や関心を引き出し、意欲を高めることができます。



机に向かう習慣をつける。

宿題を最後まできちんとやりきる。

時間のあるときはそばで見守って、励ましたりほめたりしてあげてください。

学校での学習

- 45分の授業の中で「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。繰り返し練習することで定着を図ることができ、力がつく学習内容がたくさんあります。
- 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「自分で翌日の授業の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」などが、学習の基本となります。
- 生活と結びついた学習内容が多く、実際に体験する学習が多いのも特徴です。

家庭の援助

- 学習を始める前にテレビなどを消しましょう。勉強する場の整理整頓をしましょう。
- 「〇時〇分から□時□分まで〇〇分間」というように、学習する時間を決めましょう。
- 宿題は最後まで丁寧にやり遂げるようにさせましょう。
- 学校からのお手紙や連絡、翌日の準備などは子どもと一緒に確かめるようにしましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時計を読んだりして、子どもの生活体験を豊かにしましょう。
- 一緒に読書を楽しみましょう。読み聞かせても、それぞれが本を読んでいてもいいでしょう。

中学年 (3・4年生)

自立心が芽生え、自分がやろうとすることが増え、「やる気」「根気」が育つ時期です。語彙(言葉)の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになります。急に勉強が難しく感じられたり、苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信をもたせ、意欲を高めるような励ましが必要になります。

集中して宿題をやりきる。

自分から進んで学習する。

分からないことや興味のあることを自分で調べる。



学校での学習

- 社会・理科・総合的な学習が始まり、学習内容も広がります。
- 国語辞典や漢字辞典・地図帳などの使い方を学習し、自分で調べる学習が多くなります。
- 算数では四則計算(+・-・×・÷)の基礎基本を徹底して学習するとともに、小数や分数といった抽象的な内容も学習します。



家庭の援助

- 徐々に自分でできるようにするために、温かい助言や励まし、宿題や持ち物の点検等の子どもの様子にあわせた手助けが必要です。
- 社会・理科・総合で学習する地域社会の自然・文化・産業などにふれる機会を多くもち、豊かな体験をさせてください。



高学年 (5・6年生)

生活リズムの乱れが学習習慣や学力の定着に影響します。生活習慣を見直し、目標を決めて計画的に学習を進めることができるように、温かく見守りながらの励ましが必要になります。また、宿題だけで終わるのではなく、自分なりに考えながら学習していくことが大切です。

集中して宿題をやりきる。

自分なりの学び方を工夫して学習する。

課題やめあてを自分で設定し、調べ、まとめる。



学校での学習

- 論理的な学習内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- 筋道を立てて考える力や広い視野で物事を観察する力が必要になります。
- 友達と協力して調査・研究し、様々な人と関わることで、ものの見方・考え方を深めることができます。



家庭の援助

- 「やればできる」という気持ちをもたせ、自尊感情を高められるように、認め、励ますことが大切です。
- 学習する場の整理整頓に心がけ、計画的に学習が進められるよう助言してください。
- 新聞やテレビのニュース等について家族で話し合う機会をもちましょう。



家庭学習 小学校版 ガイドブック



見附市教育委員会
アクションプラン「みつけレインボー」推進委員会

1・2年

組

3・4年

組

5・6年

組

名前

か てい がく しゅう 家庭学習のすすめ

低学年

べんきょうをがんばると、
「わかった!」「できた!」「じょうずになった!」
といううれしさでいっぱいになります。

やくそく

- 1 学校がっこうからのお手紙てがみを、おうちの人ひとにわたします。
- 2 れんらくちょうをみて、やるべきことをたしかめます。
- 3 家いえに帰かえったら、早はやめにしゅくだいをすませます。
- 4 がくしゅうするときはテレビをけし、つくえの上をせいいせいとんしてからはじめます。
- 5 正ただしいしせいで、正しくえんぴつをもってがくしゅうします。
- 6 もんだいをよみ、じぶんでかんがえます。
- 7 やりおわったら、正しくできているか、見直みなおしまできちんとやります。
- 8 つぎの日のじゅんぴをじぶんでします。
えんぴつやあかえんぴつをけす。がくしゅうにひつようなものをよいうする。
(きょうかしょ・ノート・ドリル・しゅくだいなど)
- 9 しゅくだいやつぎの日のじゅんぴがきちんできているか、おうちの人にてんけんしてもらいます。



中学年

勉強をがんばって続けると、
自分に自信がつきます。

やくそく

- 1 学校からのお便りなどを、おうちの人にわたします。
- 2 連絡帳を見て、やるべきことを確かめます。
- 3 家に帰ったら、早めに宿題をすませます。
- 4 学習するときは、テレビをけし、つくえの上を整理整頓して始めます。
- 5 正しいしせいで、正しくえんぴつを持って学習します。
- 6 やり終わったら、正しくできているか、見直しまできちんとやります。
- 7 宿題の他にも学習に取り組みます。
- 8 次の日の学習や用具の準備を自分でします。
- 9 宿題や次の日の準備がきちんできているか、おうちの人に点検してもらいます。



高学年

勉強すると、自分のいろいろな力を
伸ばすことができます。
また、新しい世界が広がったり、
「なりたい自分」にもなれたりします。

やくそく

- 1 学校からのお便りなどを、おうちの人にわたします。
- 2 連絡帳を見て、やるべきことを確かめます。
- 3 家に帰ったら、早めに宿題をすませます。
- 4 学習するときは、テレビをけし、つくえの上を整理整頓して始めます。
- 5 正しいしせいで、正しくえんぴつを持って学習します。
- 6 やり終わったら、正しくできているか、見直しまできちんとやります。
- 7 宿題の他にも学習に取り組みます。
- 8 次の日の学習や用具の準備を自分でやり、確認します。



じしゅがくしゅうメニューれい

- ★ 声こえに出だして、音おんどくのれんしゅうをする。
- ★ たくさんどくしよする。
- ★ ひらがな、カタカナ、かん字じを正しいかきじゅんでれんしゅうする。
- ★ きょうかしょの文ぶんを、正しくうつす。
- ★ 日記にっきをかいたり、絵えをかいたりする。
- ★ ならったけい算さんが正しくできるようになれしゅうする。
- ★ がっきのれんしゅうをする。



復習

学習したところを見直し、
重要語句などをもう一度
まとめる。
漢字・計算の練習をする。
ドリルや問題集などをやる。



- ★ 教科書の問題をする。
- ★ すらすら読めるように音読の練習をする。
- ★ テーマをもって読書をする。
- ★ 正しい書き順で、ていねいに漢字の練習をする。
- ★ 速く、正確に視写をする。
- ★ 習った計算を、速く、正確にできるように練習する。
- ★ 家庭で用意した問題集などで学習する。
- ★ テストやプリントでまちがったところをもう一度やる。



自主学習メニュー例

- ★ したことや思ったことを、詩や日記に書く。
- ★ 分からない言葉を、辞書を使って調べる。
- ★ 社会や理科などで興味をもったことについて調べてまとめる。
- ★ 新聞やテレビのニュースを見て、記事のあらましと感想を書く。
- ★ 生き物新聞、家族新聞など、「○○新聞」を書く。
- ★ 楽器の練習をする。
- ★ 図工の学習で習得した技能を活用して、作品を制作する。
- ★ 家庭科の学習でやったことを実践する。

予習

次に学習するところを一
読して、分からないところ
をチェックしておく。
(線を引いたり、ノートに
書き出したりする。)

